

【EST 創発セミナーの参加者を募集しています！ <http://www.estfukyu.jp/sohatsu.html>】

ESTメールマガジン 第 15 号(2007.10.25)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 15 回)

●自動車の環境対策について

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 野津真生】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 15 回)

●「金沢市における小学校への交通環境学習の推進について」

【金沢市都市政策局交通政策部歩ける環境推進課 中田 栄】

3. ニュース／トピック

●公用車へのバイオガソリンの導入について【経済産業省】

●E10対応車の技術指針を策定しました【国土交通省】

●平成 19 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業(大阪府)におけるE3の供給開始について【環境省】

●松山都市圏交通実態調査について【松山市】

●横浜環境ポイント社会実験 10 月 7 日からスタートします！【横浜市、東京急行電鉄】

●「公共交通沿線居住推進事業」を実施します【富山市】

●11 月 1 日から「とよたおいでんバス」が走り始めます【豊田市】

●紅葉の箱根は快適、絶景広がる「大涌谷パーク&ライド」で【神奈川県、箱根町】

●大手町丸の内有楽町エリアに Suica をベースとするエコポイントが誕生【JR 東日本】

●2006 年度低公害車等の出荷台数実績の公表について【社団法人日本自動車工業会】

●「首都高 ETC 車載器 0 円キャンペーン」を始めます【首都高速道路】

●燃料電池性能を向上させたセニアカー「MIO(ミオ)」を第 34 回国際福祉機器展 H.C.R.2007 へ参考出品【スズキ】

●燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」で大阪-東京間約 560km を水素補充することなく完走【トヨタ自動車】

●低燃費でクリーン、静粛性に優れた新世代のハイブリッド大型路線バス新型「エアロスター エコ ハイブリッド」を新発売【三菱ふそう】

●天然ガス自動車「ミニキャブ バイフューエル」を新発売【三菱自動車】

●小型ディーゼルエンジン全機種を環境対応型へモデルチェンジ【三菱重工】

●第 5 回「モーダルシフト取り組み優良事業者」を公表【日本物流団体連合会】

4. イベント情報

- 中部・北陸信越 EST 創発セミナー
～地方自治体からはじめるモビリティ・マネジメント～
- 九州 EST 創発セミナー
～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～
- 中国・四国 EST 創発セミナー
～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～
- 環境フェア ～みんなでとめよう温暖化～
- バイオ燃料の正の側面・負の側面
- SETC 2007
- エコドライブ・コーナー ～シミュレーター体験&トークショー～
- 電気自動車の祭典「第13回日本EVフェスティバル」
- 第2回 日本ITS推進フォーラム
- EV(電気自動車)用リチウムイオン電池研究会フォーラム
- 「マイカーひとやすみ」エコフェスタ&パレード
- ITS ワールド in あいち「ひと・地球・くらしにやさしいITS」
- ESTフォーラム ～地球温暖化とクルマ、公共交通について考える～
- エコカーフェア2007in おおさか
- 第6回 ITS シンポジウム 2007
- 交通環境クイズセミナー「乗って、考えて、地域のあし・バス」
～地元のバスを使ってみて、交通と環境を考えよう！～
- 京都環境フェスティバル

5. その他

- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第15回)

- 自動車の環境対策について

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 野津真生】

(国土交通省自動車交通局技術安全部環境課低公害車対策官)

自動車分野における環境対策としては、地球温暖化対策としてのCO₂排出削減と、大気汚染改善のためのNO_x及びPMの排出削減が喫緊の課題とされています。特に、地球温暖化対策については、京都議定書に定められた温室効果ガス6%削減目標の達成が現在の課題ですが、先のハイリゲンダム G8 首脳会議において、日本からの提案が、「2050年までに地球規模での排出を少なくとも半減させることを含む、EU、カナダ、及び日本による決定を真剣に検討する」として議長総括に盛り込まれたことを踏まえ、運輸部門の

CO2排出量の約9割を占める自動車分野での排出削減のため、適切に対策を推進する必要があります。

このため、トップランナー基準の策定による自動車の燃費改善、自動車グリーン税制等による低公害車の普及といった対策を推進しております。また、自動車運送事業者等のエコドライブの推進や営業用自動車の運行の効率化等といった取組みを支援することにより、運輸部門における地球温暖化対策の一層の推進を図ることとしております。

一方、NOxやPMに係る大気汚染については、大都市圏を中心に環境基準未達成の測定局が残っております。このため、世界一厳しいレベルの新車の排出ガス規制(平成17年10月～:新長期規制)を実施しているところですが、今後、09年排出ガス規制(ポスト新長期規制)の実施に向けて、適切に対応してまいりたいと考えています。

加えて、大気汚染対策と地球温暖化対策に資する、次世代低公害車の開発・実用化を促進することなどを通じて、自動車の環境対策の推進を進めてまいりたいと考えております。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第15回)

●「金沢市における小学校への交通環境学習の推進について」

【金沢市都市政策局交通政策部歩ける環境推進課 中田 栄】

金沢市では、平成19年3月に「新金沢交通戦略」を策定し、その中で公共交通の利用促進に向けて、公共交通を支える意識の醸成を図るためには、小・中学生といった早い段階から公共交通について考える機会を提供することが重要であるとしています。

このため今年度から3カ年、交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受けて、小学校を対象とした交通エコロジー教室を開催し、金沢版の交通環境学習プログラムの確立を目指します。

今年度は3校において、児童自らが考え実践する姿勢を育むために、1時限目で児童に楽しみながら学んでもらえるよう寸劇を取り入れて、交通と環境の関わりを示し公共交通の利用促進を呼びかける交通エコロジー教室を行い、交通と環境の関わりや公共交通利用の重要性を学んだのち、バス利用方法の説明をして、実際にバスに乗車することを体験してもらうことにしています。

2時限目として自分の感想を授業で発表し他の児童の意見を聞く復習授業を行い、多くの人にバスを利用してもらうためには、どうすればよいか考えることで、バスを身近に感じ、自ら考え、実践する姿勢を身につけることを目的にしています。

来年度以降は、今年度の実績も踏まえて交通環境学習推進委員会での助言をいただきながら実施し、金沢版交通エコロジー授業プログラムとテキストの完成を目指していきます。

3. ニュース／トピック

●公用車へのバイオガソリンの導入について【経済産業省】

経済産業省では、10月1日より、保有する公用車の燃料としてバイオガソリンを導入することとなりましたのでお知らせいたします。

<http://www.meti.go.jp/press/20070928006/20070928006.html>

●E10対応車の技術指針を策定しました【国土交通省】

国土交通省は、E10(エタノールをガソリンに10%混合したもの)対応車が公道走行試験を実施するために必要な技術的要件を取りまとめた「E10対応車の技術指針」を10月12日に策定しました。これにより、E10対応車の公道走行試験が可能となります。この技術指針は、「E10対応車安全・環境性能検討会」における審議を経て策定しました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091012_.html

●平成19年度エコ燃料実用化地域システム実証事業(大阪府)におけるE3の供給開始について【環境省】

環境省では、エコ燃料の普及を加速化するため、大都市圏等において、バイオエタノール混合ガソリンの自立的なエコ燃料生産・利用システムの成立を実証することを目的として、「エコ燃料実用化地域システム実証事業」を平成19年度から実施します。この度、環境省の委託を受けて、大阪府がE3(バイオエタノール3%混合ガソリン)による当該実証事業を10月9日(火)から開始しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8874>

●松山都市圏交通実態調査について【松山市】

松山市では、国土交通省など関係機関と協力し、松山都市圏(松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町の3市2町)において、交通実態調査を実施します。この調査は、徒歩での移動をはじめ、自動車、電車などの交通手段をどのように利用しているかを把握し、将来の総合的な交通計画やまちづくりに役立てようとするものです。

http://www.city.matsuyama.ehime.jp/koutuu/1183270_1005.html

●横浜環境ポイント社会実験10月7日からスタートします！【横浜市、東京急行電鉄】

マイカー利用から鉄道利用への転換など、市民の方の環境行動を促進して地球温暖化対策を進めるため、横浜市は東京急行電鉄と協働で、10月7日(日)から、環境ポイントの社会実験を行います。環境ポイントは、PASMO、又はSuicaをお持ちの方が気軽に参加できる環境にやさしい新しい仕組みです。

http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/070926.pdf

●「公共交通沿線居住推進事業」を実施します【富山市】

富山市では、公共交通の活性化により、高齢者をはじめ誰もが、自動車だけに頼ることなく、安心して快適に歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指し、様々な取り組みを行って

います。今回は、公共交通の利便性が高い地区において、居住を推進するため10月1日から実施する『公共交通沿線居住推進事業』を紹介します。

<http://www7.city.toyama.toyama.jp/topics/20071001.pdf>

●11月1日から「とよたおいでんバス」が走り始めます【豊田市】

豊田市は、平成18年度に「公共交通基本計画」を策定し、鉄道、基幹バス、地域バスなどによる利便性の高い公共交通ネットワークの構築を進めています。今年度はこれまでに、基幹バス「藤岡線」、「矢並線」、「九久平線」の増便や地域バス「水源東バス」、「平井バス」、「保見地域バス」、「旭地域バス」の運行を開始しました。また、11月1日(木)からは基幹バス「旭・豊田線」、「稲武・足助線」などで新型車両「とよたおいでんバス」が走り始めます。ますます便利になる公共交通をご利用ください。

http://www.city.toyota.aichi.jp/ex/jouhou/1015/1310573_16921.html

●紅葉の箱根は快適、絶景広がる「大涌谷パーク&ライド」で【神奈川県、箱根町】

神奈川県と箱根町は、平成19年10月27日(土)より11月18日(日)までの土曜日、日曜日にロープウェイからの紅葉を楽しむ方に向けて、芦ノ湖キャンプ村近くに、「無料」臨時駐車場を設置します。ご利用者の方には先着順で特製「大涌谷パーク&ライド」観光手形などもプレゼント。また周辺の飲食施設で食事をされる方へは提携店舗でのドリンクサービスなどもあります。山頂有料駐車場は在庫待ち渋滞がかなり予想されますので、秋の箱根、紅葉狩りは是非、大涌谷パーク&ライドをご利用ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1914/odo/odo-index.htm>

(大涌谷パーク&ライドの告知は10月27日(金)から)

●大手町丸の内有楽町エリアにSuicaをベースとするエコポイントが誕生【JR東日本】

大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会と東日本旅客鉄道株式会社は、大手町丸の内有楽町エリアでの「環境共生型まちづくり」の一環として、2007年10月1日にSuica電子マネーを活用した大丸有エコポイントを導入します。導入に際しては、JR東日本の提供するSuica決済及びSuicaを利用したポイント運営システムを利用します。

http://www.jreast.co.jp/press/2007_1/20070909.pdf

●2006年度低公害車等の出荷台数実績の公表について【社団法人日本自動車工業会】

(社)日本自動車工業会は、2006年度低公害車等の出荷台数実績をホームページにおいて10月5日(金)より公表しました。自動車メーカー各社は、地球温暖化対策や大気環境改善のために環境負荷の少ない自動車の開発や普及に努めており、社会の関心もますます高まっています。こうした状況を踏まえ、自工会及び会員各社は、低公害車等の工場出荷台数を2000年度実績よりホームページにおいて公表(年1回更新)しています。

http://release.jama.or.jp/sys/news/detail.pl?item_id=1276

●「首都高 ETC 車載器 0 円キャンペーン」を始めます【首都高速道路】

現在、首都高速をご利用される方のうち 75%超、4 台に 3 台の方が ETC を利用しています。首都高速道路株式会社及び財団法人首都高速道路協会では、ETC を取り付けやすくするために、国土交通省が創設した「四輪車 ETC らくらく導入キャンペーン」を活用し、ETC 車載器を 0 円(アンテナ一体型、セットアップ費込み、取付費別途)で提供、ひとりでも多くの方に ETC を始めてもらうお得なキャンペーンを始めます。

<http://www.shutoko.jp/company/press/h19/071003/index.html>

●燃料電池性能を向上させたセニアカー「MIO(ミオ)」を第 34 回国際福祉機器展 H.C.R.2007 へ参考出品【スズキ】

スズキ株式会社は、10 月 3 日より 10 月 5 日まで、東京ビッグサイトにて開催される第 34 回国際福祉機器展 H.C.R.2007 に、昨年同展示会に出品した燃料電池を搭載したセニアカー「MIO」を改良し、新たなモデルとして参考出品します。「MIO」は、市販のハンドル型電動車いすスズキ セニアカーのバッテリーを、ダイレクトメタノール型燃料電池に置き換えたセニアカーで、今年参考出品するモデルは、昨年同モデルの燃料電池性能を向上させ、より長距離の走行を可能としました。

<http://www.suzuki.co.jp/release/c/2007/1002/index.html>

●燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」で大阪-東京間約 560km を水素補充することなく完走【トヨタ自動車】

トヨタ自動車株式会社は、改良を加えた燃料電池システムを搭載した燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」の公道走行試験の一環として、本日 9 月 28 日、大阪-東京間の長距離走行試験を実施し、途中で水素を補充することなく完走しました。今回の試験車両は、約 25%の大幅な燃費向上を実現し、車両への水素貯蔵量を約 2 倍に増加させています。これらの改良により、一回の水素充填による航続距離は、約 780km を達成しました。

http://www.toyota.co.jp/jp/news/07/Sep/nt07_0913.html

●低燃費でクリーン、静粛性に優れた新世代のハイブリッド大型路線バス新型「エアロスターエコ ハイブリッド」を新発売【三菱ふそう】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、新しいシリーズ式ハイブリッドシステムを搭載し、人と環境に優しく、低エネルギーで走行し静粛性に優れた、新世代の大型ノンステップ路線バス新型「エアロスター エコ ハイブリッド」と、平成 17 年度新長期排出ガス規制に適合した新型「エアロスター」(大型ワンステップ路線バス/大型ツーステップ自家用バス)を、9 月 26 日(水)より発売しました。

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/news_content/070926/070926.html

●天然ガス自動車『ミニキャブ バイフューエル』を新発売【三菱自動車】

三菱自動車は、軽商用車『ミニキャブバン』をベースに、燃料として従来のガソリンに加えて CNG(圧縮天然ガス)を使えるようにした特装车『ミニキャブ バイフューエル』を三菱自動車ロジテクノ(株)と共同開発し、10月10日(水)から全国の系列販売会社より発売します。CNG 走行時の排出ガス性能は、ガソリン車の平成17年基準排出ガス75%低減レベル(☆☆☆)相当という高い環境性能を実現しました。また、840kmもの航続距離を確保して、CNG 車が抱えてきた燃料供給面の課題をカバーし、実用性を大幅に向上。これにより、これまで導入を見合わせていた潜在ユーザーの需要を喚起し、環境に配慮した CNG 車の普及に貢献していきます。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/pressrelease/j/products/detail1683.html>

●小型ディーゼルエンジン全機種を環境対応型へモデルチェンジ【三菱重工】

三菱重工業は10月4日から、130kW未満の小型4サイクル水冷ディーゼルエンジン全機種を米国環境保護庁(EPA)の排ガス規制に適合する環境対応型にモデルチェンジし、販売を開始します。すでに先行するかたちで2007年または2008年EPA三次規制に適合する74~117kWの“FR”、“FD”両シリーズの販売を開始していますが、今回、これを除く出力レンジ4~56kWの12機種)についても、2008年EPA中間四次規制に適合させました。これらにより、米国をはじめとする主要なマーケットでの競争力を高めて、2008年度20万台規模の販売を目指していきます。

<http://www.mhi-ir.jp/news/sec1/200710044635.html>

●第5回「モーダルシフト取り組み優良事業者」を公表【日本物流団体連合会】

日本物流団体連合会では、平成15年6月、モーダルシフト促進に関し、物流事業者の自主的な取り組みの推奨や、取り組み意識の高揚等を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表する「モーダルシフト取り組み優良事業者公表制度」を創設しました。この度、第5回モーダルシフト取り組み優良事業者を国土交通省の後援により決定いたしましたので、公表します。

<http://www.butsuryu.or.jp/modal/announce5.html>

4. イベント情報

●中部・北陸信越 EST 創発セミナー

～地方自治体からはじめるモビリティ・マネジメント～

日時:2007年11月8日(木) 13:30~16:30(13:00 受付開始)

場所:アクトシティ浜松コンgresセンター

主催:EST 普及推進委員会、中部運輸局、北陸信越運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu1.html>

●九州 EST 創発セミナー

～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

日時:2007年11月21日(水) 13:30～16:20(13:00 受付開始)

場所:ホテルセンターザ博多 フェスタ

主催:EST 普及推進委員会、九州運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu2.html>

●中国・四国 EST 創発セミナー

～環境にやさしく、まちを元気にする公共交通利用促進～

日時:2007年12月6日(木) 13:30～16:30(13:00 受付開始)

場所:岡山コンベンションセンター 407 会議室

主催:EST 普及推進委員会、中国運輸局、四国運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu3.html>

●環境フェア ～みんなでとめよう温暖化～

日時:2007年10月27日(土) 10:00～16:00

場所:奈良県立橿原公苑第一体育館

主催:奈良県、奈良県環境県民フォーラム

奈良県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.eco.pref.nara.jp/event/detail.php?id=512>

●バイオ燃料の正の側面・負の側面

日時:2007年10月27日(土) 13:30～15:00

場所:大阪市立環境学習センター(生き生き地球館)別館2階研修室

主催:大阪市立環境学習センター「バイオ燃料」係

<http://chikyukan.com/event.html#06>

●SETC 2007

日時:2007年10月29日(月)～11月1日(木)

場所:朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター スノーホール、中会議室

主催:社団法人自動車技術会

<http://www.jsae.or.jp/setc2007/>

●エコドライブ・コーナー ～シミュレーター体験&トークショー～

日時:トークショー 2007年11月3日(土) 13:15～14:30

エコドライブ・シミュレーター体験コーナー 2007年11月1日(木)～11日(日)

場所: 第 40 回東京モーターショー(千葉市・幕張メッセ)
屋外広場(ライフスタイルパーク: 西休憩ゾーン内)
主催: エコドライブ普及連絡会(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)
社団法人 日本自動車工業会
<http://www.tokyo-motorshow.com/show/2007/public/event/lifestyle.html>

●電気自動車の祭典「第 13 回日本 EV フェスティバル」

日時: 2007 年 11 月 3 日(土) 8:00-16:30
場所: 筑波サーキット・コース 2000(茨城県下妻市村岡乙 159)
主催: 日本 EV クラブ
<http://www.jevc.gr.jp/festival2007/>

●第 2 回 日本 ITS 推進フォーラム

日時: 2007 年 11 月 8 日(木)、9 日(金)、10 日(土)
場所: 経団連ホール(大手町経団連会館 14F)、幕張メッセ国際会議場 2F 国際会議室
主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan
http://www.its-jp.org/event/its_forum/forum02/forum02_top.htm

●EV(電気自動車)用リチウムイオン電池研究会フォーラム

日時: 2007 年 11 月 9 日(金) 14:00~17:00
場所: 波止場会館(横浜市港湾労働会館)5階 多目的ホール
主催: 神奈川県
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kogyo/ev/index.html>

●「マイカーひとやすみ」エコフェスタ&パレード

日時: 2007 年 11 月 11 日(日) 11:00~16:00
場所: 奈良公園登大路園地(県庁前)
主催: 環境省、奈良 EST モデル事業検討協議会、NPO 法人奈良ストップ温暖化の会
<http://naso.jp/>

●ITS ワールド in あいち「ひと・地球・くらしにやさしい ITS」

日時: 2007 年 11 月 22 日(木)~25 日(日) 10:00~18:00(土日祝は 9:00~)
場所: ポートメッセなごや 1 号館 名古屋モーターショー会場内
主催: 愛知県 ITS 推進協議会
<http://www.chukei-news.co.jp/itsworld2007/outline/>

●ESTフォーラム ～地球温暖化とクルマ、公共交通について考える～
日時:2007年11月26日 13:00～16:00
場所:四日市商工会議所ホール(1階)
主催:中部地方環境事務所・三重県環境行動モデル事業推進協議会
<http://jsce.jp/article.pl?sid=07/10/23/1017202&mode=nested>

●エコカーフェア2007in おおさか
日時:2007年11月30日(金)～12月3日(月)
場所:インテックス大阪 スカイプラザ
主催:低公害車フェア in おおさか実行委員会
連絡先:大阪府環境管理室交通環境課自動車環境対策グループ
電話:06-6941-0351(内線 3899)

●第6回 ITS シンポジウム 2007
日時:2007年12月6日(木)～7日(金)
場所:神戸市産業振興センター
主催:特定非営利活動法人 ITS Japan
<http://www.its-jp.org/event/symposium/sym06.htm>

●交通環境クイズセミナー「乗って、考えて、地域のあし・バス」
～地元のバスを使ってみて、交通と環境を考えよう!～
日時:2007年12月8日(土) 第1回 13:30～ 第2回 15:30～
2007年12月9日(日) 第1回 13:30～ 第2回 15:30～
場所:ITS情報センター みちなびとよた
主催:社団法人環境創造研究センター
<http://jsce.jp/article.pl?sid=07/10/24/0025227&mode=nested>

●京都環境フェスティバル
日時:2007年12月8日(土)、9日(日)10:00～16:00
場所:京都市伏見区 京都府総合見本市会館(パルスプラザ)
主催:京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、財団法人自治総合センター
<http://www.pref.kyoto.jp/kankyofes/index.html>

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: EST@ecomoto.or.jp (担当: 市丸)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: EST@ecomoto.or.jp

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>